

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025年8月12日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社黒田海運
所在地	〒860-0844 熊本市中央区水道町7-16-4F
代表者役職・氏名	代表取締役 黒田 亮
担当者連絡先	電話：090-3035-2486 (担当：松本)
	メール：matsumoto.mio@kuroda-kisen.com
ウェブサイトURL	https://kurodakaiun.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

船主業 船主(船舶貸渡業者)としてオペレーターへ船舶を貸し渡し、傭船していただいております。 所有船舶6隻 船舶管理業 長年の船主業で培った経験を基に、他社から依頼を受けた船舶を弊社で管理しております。 船員配乗、船舶の保守管理、そして運航管理を行っております。 管理船舶5隻
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	特定船舶の導入	特定船舶の割合 2025年6割→2030年8割
□環境 ✓社会 ✓経済	資格取得	海技免状4級取得者の割合 2025年5割→2030年7割
□環境 □社会 ✓経済	①雇用の創出 ②所有・管理船舶数の増加	① 業員数 2025年31人⇒2030年50人 ② 所有・管理船舶数 2025年11隻→2030年15隻

(次項へ続く)



カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・再生利用される産業廃棄物を運搬し、資源の循環利用に貢献している。 ・技術的、或いは経済的に寿命を終えた船舶を解撤し、得られた資源を再利用するシップサイクルに取り組んでいる。										11.6	12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・省エネ効果のある船型の採用や、エンジンの小型化等により消費エネルギーの削減に取り組んでいる。							7.3					13					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・効率的な運搬、船型や使用燃料の工夫により、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。 ・温室効果ガスの発生が少ない燃料を使用している。 ・CO2排出量算出システム「炭削くん」を用いてCO2排出量の記録を行い、排出量削減への意識を高めている。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・環境に配慮した船舶を適切に使用し、海洋生物をはじめとする生物多様性や生態系への悪影響を防止している。 ・取扱いを徹底し、油や積荷等の海洋流出による汚染を防止している。						6.6							15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・事務所内や船内に節水を呼び掛けるポスターを掲示し、水資源の利用効率改善への意識を高めている。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9		6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・事務所備品のグリーン購入を推進している。											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・最新設備の導入や船内カメラの設置により、安全な運航、確実な積荷の運搬を行っている。			3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・空船状態をなるべく減らすための計画を立てることで、効率の良い運送を行っている。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・2024年問題や環境問題等の背景により、モーダルシフトの機運が高まっており、貨物輸送の受け皿となっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17



カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			

**【記載留意事項】**

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載して下さい。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。